

第50回(平成28年度) 全国子ども会育成中央会議・研究大会 開催のご案内

期 日：平成29年2月17日(金)～19日(日)

受付：2月17日(金)12:00～13:00 / 開会式：13:00～

会 場：久留米シティプラザ

〒830-0031 福岡県久留米市六ツ門町8-1 TEL：0942-36-3000

萃香園ホテル

〒830-0013 福岡県久留米市櫛原町87 TEL：0942-35-5351

1日目：開会式・表彰式、記念講演、対談(久留米シティプラザ)

受賞者を囲む会・情報交換会(萃香園ホテル)

2日目：分科会、伝統芸能活動発表

3日目：地区視察

主催

公益社団法人全国子ども会連合会

九州地区子ども会育成連絡協議会

後援(申請中)

内閣府 文部科学省 厚生労働省
福岡県 福岡県教育委員会 久留米市
久留米市教育委員会 久留米市立小中学校長会 久留米市立小中学校PTA協議会
公益財団法人日本レクリエーション協会 公益社団法人全国公民館連合会
社会福祉法人全国社会福祉協議会 公益財団法人民間放送教育協会 財団法人全国老人クラブ連合会
全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国高等学校長協会
全国国公立幼稚園長会 全日本私立幼稚園連合会 公益社団法人全国私立保育園連盟
産経新聞社 毎日新聞社 読売新聞社
日本教育新聞社 西日本新聞社 朝日新聞西部本社
読売新聞西部本社 日本経済新聞西部本社
NHK福岡放送 FBS福岡放送 TVQ九州放送
九州朝日放送 RKB毎日放送 テレビ西日本



公益社団法人
全国子ども会連合会

開催趣旨

公益社団法人全国子ども会連合会は、その目的を定款第3条で、「子ども会活動の助成に関する事業を行い、子どもの社会生活に必要な徳性の涵養、及び子どもの健全育成に寄与すること」と定めており、この目的達成を目指して活動を進めております。

第50回全国子ども会育成中央会議・研究大会は、平成28年度の運動方針にある「子どもたちに残し伝えたい自然と郷土伝統芸能！」に鑑み、九州地区の各県子どもたちによる伝統芸能の発表が2日目にあります。

第48回の名古屋市では、自然共生都市の実現に向けて、次世代の子どもたちのために持続可能な社会を構築する取組みとして園児・学校・大学など段階に応じた環境学習を推進し、子どもたちに自然との共生をどのように伝え、残していくかをみなさまと共に議論を深めました。

この研究大会が「子どもたちの未来の環境のために」「子どもたちに残し伝えたい自然と郷土伝統芸能！」を考えることにより地域で一層の取組みがなされることを願っております。

テーマ 「地域のまち創りは子ども会から」
～子どもたちに残し伝えたい自然と郷土伝統芸能！～

プログラム

1日目 (2月17日・金曜日)			2日目 (2月18日・土曜日)			3日目 (2月19日・日曜日)				
時刻	内容	会場	時刻	内容	会場	時刻	内容			
		久留米シティプラザ	9:00	分科会	久留米シティプラザ	9:00	九州の自然・歴史・文化を視察 【Aコース】 【Bコース】 【Cコース】 【Dコース】			
				1. 大分県						
				2. 福岡市						
				3. 熊本県						
				4. 鹿児島県						
				5. 沖縄県						
				6. 長崎県						
				7. 佐賀県						
				8. 宮崎県						
12:00	受付			12:00		昼食休憩				
13:00	開会式 表彰式			13:00		郷土芸能活動発表 7県 大分県 鹿児島県 長崎県 佐賀県 熊本県 沖縄県 福岡県				
14:15	記念講演			16:20		休憩			16:00頃	解散 福岡空港・博多駅
15:25	休憩			16:30		閉会式				
15:40	九州地区子連表彰		17:00	終了						
16:00	対談 これからの子ども会 新田理事・神谷先生			自由時間						
17:00	休憩									
17:05	政令指定都市地区子連表彰									
17:30	記念撮影 移動・チェックイン									
18:30	受賞者を囲む会 情報交換会	萃香園 ホテル								

□2月17日（金）第1日目 ❀久留米シティプラザ❀

■開会式・表彰式 13:00～14:15

●開会式

1. 開式の言葉
2. 国歌斉唱
3. 主催者挨拶 公益社団法人全異国子ども会連合会
会長 丸山康昭
4. ご来賓祝辞
5. 歓迎の挨拶
6. ご来賓紹介
7. 閉式の言葉

●表彰式

1. 開式の言葉
2. 表彰状及び感謝状の授与
 - 1) 個人表彰 指導者・育成者
 - 2) 団体表彰 指導者組織及び育成組織
 - 3) 奨励賞
 - 4) 感謝状 退任された代表者
3. お祝いの言葉
4. 謝辞
5. 閉式の言葉

地域の子ども会活動を長年支えてくださった方々に対し、表彰を行います。

個人は、20年以上子ども会活動に従事し、すでに都道府県・指定都市の連合組織の表彰を受けている方が対象となります。団体は、10年以上活動を続ける市区町村連合組織・指導者組織等を対象とします。奨励賞は、都道府県・指定都市子ども会連合組織の10年ごとの節目に贈呈しています。

■記念講演 14:15～15:25

「いま、大切にしたいこと」 武末龍泰氏

昭和52年、甘木市立甘木中学校を振り出しに、久留米市内の小・中・特別支援学校、及び久留米市教育委員会を経て、平成24年3月久留米市立安武小学校長を最後に退職。現在は、柳川市にあります社会福祉法人学正会役員として、社会福祉の現場で働いています。

これまでの主な活動としては、1987年（昭和62年）に結成した夢気球バンドのリーダーとして、20年に及ぶ障がい者支援のための「夢気球コンサート」や、広島での原水爆禁止世界大会、三重県人権啓発のつどい、大分県連合PTA総会記念コンサートなど、これまでに400回程度のコンサートを行ってきました。

また、県内外において人権問題に関する講演会、PTA家庭教育学級、市民大学等での講演活動も行ってきました。

■九州地区連表彰 15:40～16:00

■対談 「子ども会の明るい未来」 16:00～17:00

新田新一郎氏（全国子ども会連合会 理事） 神谷明宏氏（聖徳大学准教授）

■政令指定都市地区子連表彰 17:05～17:30

■表彰者記念撮影 17:30～

●移動・各ホテルへチェックイン

■受賞者を囲む会・情報交換会（萃香園ホテル） 18:30～20:30

公益社団法人全国子ども会連合会表彰を受賞された指導者、育成者の方々の一層のご活躍、そして団体のますますの充実・発展を期待し、受賞をお祝いする会とします。

全国各地で活発に活動されている子ども会の指導者、育成者の方々との情報交換の機会とし、子ども会の発展を誓い合ひましょう。

□2月18日（土）第2日目 ❀久留米シティプラザ❀

■分科会 9:00～12:00

会場設営の関係上、分科会は全て事前申込み制としております。お申込みのない方は、分科会への参加をお受けできませんのでご注意ください。一部の分科会では、参加者定数を定めておりますので、申込み状況次第で、他の分科会をご提案させていただく場合がございます。予めご了承ください。

	テーマと内容
1	第1分科会 大分県子連担当分科会
	テーマ：「子ども会の中で育つ子ども」～子ども会が必要なわけ～ 地域社会における子ども会の役割を考えよう
	<p>◎子ども会の必要性を再確認し、いかに広めていくか ◎育成者・保護者の理解と協力で、子ども会の活性化をいかに図っていくか</p> <p>子どもたちは自分の住んでいる地域で、同級生や異なる年齢の子どもたちと共に数多くの大人に囲まれた中で育っています。友達との遊びや地域の行事などに関わりながら様々な体験を積み重ねながら大きく成長します。しかし、近年の核家族化の進行や社会情勢の変化により、子どもたちの遊びは細り、“いじめ”が深刻化すると共に、子どもたち同士の結びつきは加速度的に弱まってきています。地域における子ども会活動の必要性が強く求められているのです。</p> <p>子ども会活動は、「子ども会の主人公は子ども」「子どもの手による子ども会の実現」「地域の子どもは地域全体で育てる」などを理念として活動してきましたが、その中で目指してきたものとして</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 遊びを通して子どもの健全育成を図ると共に、幅のある人間性を育む 2. 集団の中での活動で、意思疎通を図る力を身につけさせると共に社会性を身につけさせる 3. 学校の中だけではできない活動（地域との結びつき）に取り組む中で、地域に対する愛着を身につけさせる <p>地域における子ども会の活動は、将来における地域の有様そのものであり、安心・安全の町づくりや高齢者問題も含めて考えたとき、「子どもたちにやさしい町」は即「お年寄りにもやさしい町」であることを再確認し、地域の自治会を中心とした総合力を結集した取り組みが重要になってきています。このような中で育成者・保護者の理解と協力で、子ども会活動を地域と共にいかに広めて活性化していくかが今まさに問われているのです。</p>
2	第2分科会 福岡市子連担当分科会
	テーマ：「子ども会活動の運営」①～運営するのは誰か～ 子ども会育成会の視点から考えよう
	<p>最初に福岡市の方から課題についての考えを発表させて頂き、子ども会活動の運営について子ども会育成会からの視点なので、まずワークショップ方式でいくつかの班に分けて意見交換をして頂きます。意見を集約して発表して頂きます。その後各地域でそれぞれ運営方法が違うと思うのでアンケート（自由記入）方式にて書いて頂きたいと思っております。</p> <p>アンケート内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単位子ども会役員・部長の任期 選ばれ方 ○子ども会の育成者の定例会回数（校区・区）・定例会人数 ○子ども会の年間予算 ○子ども会の活動内容 運営は誰がやっているのか
3	第3分科会 熊本県子連担当分科会
	テーマ：「子ども会活動の運営」②～運営するのは誰か～ 子どもたちの視点から考えよう
	<p>「子どもの目線」を大切にしたい協議になるよう、子どもたちの生の声（作文）、を原点とします。「子どもたちは何を求めているのか」「子どもたちは何をしたいのか」という声を大切にして、「大人が何をすべきか、何をしてくれるのか」・・・そんな願いを込めて進めていきます。</p> <p>※共通の問題点を深めるために、職種別の班構成による「ワークショップセミナー」で進めます。申込（事前レポート）にて参加者の職種（役員・育成者・指導者・行政・事務局等）をお知らせください。</p>

4	第4分科会 鹿児島県子連担当分科会
	<p>テーマ：「子ども会活動の発展と継承」①明日へ、未来へ繋ぐ活動は～ 活動内容（事業）を考えよう</p> <p>子ども会活動は、生活圏において、子どもたちが異年齢交流を図りながら、多様な体験活動を通じて社会性の基本を学ぶ場であるが、近年、会員数の減少や会員・育成者の活動に対する参加意欲の低下等から、本来の役割をはたせなくなっている子ども会も見られ、活動の衰退が懸念されている。</p> <p>そこで、子ども会活動を発展・継承していくためには、どのような活動（事業）を取り入れていけばよいかを考える。</p>
5	第5分科会 沖縄県子連担当分科会
	<p>テーマ：「子ども会活動の発展と継承」②明日へ、未来へどのように繋ぐか～ 人的継承の視点から考えよう</p> <p>①子ども会活動の継承 ②単位子ども会→市子連のつながり ③つなげる手段として、どのようなことが考えられるか、あるか。</p>
6	第6分科会 長崎県子連担当分科会
	<p>テーマ：「子ども会ジュニア・リーダーと指導者の役割」～何のために～ ジュニア・リーダーからシニア・リーダー、そして指導者へ</p> <p>子ども会活動におけるジュニア・リーダーの果たす役割はたいへん大きい。会員数が減少していく現在、子ども会活動の活性化のためには、ジュニア・リーダーの確保と育成が特に求められている。また、ジュニア・リーダーからシニア・リーダーとなって活動を引き継ぎ、さらに、次期指導者や地域の青年リーダーとなり育っていくことが、今日の子ども会に求められている大切な役割ともいえる。実践事例をもとに本分科会で研究協議を深め、本テーマに迫りたい。</p>
7	第7分科会 佐賀県子連担当分科会
	<p>テーマ：「子ども会における安全教育」～安全教育の推進～ 安心して楽しくチャレンジするために</p> <p><u>発表1</u> 子ども会ではキャンプ、登山、川探検、ミニバレー、ドッチビーなどのスポーツ、地域のお祭りなど様々な直接体験活動をしています。これらの行事を子どもたちが楽しく安全に活動できることが私達指導者には求められています。子どもたちの安全を守るため、KYT講習を幅広く行い、重大事故の防止、指導者育成を行っていますが、課題も多くあります。</p> <p>大人も子どもも安心してチャレンジできる子ども会活動を進めていくためにも粘り強く安全教育を推進していく必要があります。</p> <p>佐賀市子連での安全教育の取り組みについてご紹介します。</p> <p><u>発表2</u> 安全があつてこそ楽しい活動。指導者の方々には「子ども達に危険なことをどう意識づけるか」、少しでも考えさせる事を念頭に置き指導をしてくださいと指導者教育を行っています。その甲斐があつてか、ここ数年事故報告件数が1桁台に減ってきています。今後も「事故報告ゼロ」を目指して頑張っています。伊万里市子連でのKYTの取り組みについて発表します。</p>
8	第8分科会 宮崎県子連担当分科会
	<p>テーマ：「子ども会の会員を増やすためには」～少子化だけではない減少の理由～ 魅力的な活動をするために</p> <p>子ども会の会員減少の理由としては、少子化による自然減に加えて、子ども達の生活環境の多様化による「子ども会離れ」が進んでおり、一部の地域では子ども会の消失や少人数化による活動の減少など、子ども会活動に支障をきたす状況が見受けられる。</p> <p>宮崎市子連では、各地区の校区子連協でアンケート調査を実施し、子ども会の現状を把握するとともに減少の理由となる問題点を取り上げていく。</p> <p>さらに市子連や校区子連協での会員数を増やすための取り組みや魅力ある活動等の実践事例及びその成果について発表を行い、子ども会の会員数を増やすための対策について研究協議を深めていく。</p>

<p>大分県</p>	 <p>題名：神楽「正護」（しょうご） 団体名：下青江神社子供神楽保存会</p> <p>下青江神社子供神楽は、郷土の繁栄と安全、五穀豊穡を祈願して、秋の大祭に神楽を奉納しています。現在、子どもたちは、地域に伝わる伝統文化を正しく理解し、次世代への継承と子どもたちの豊かな人間性を高めていく事を目的としています。最近では、少子高齢化のあおりを受けて、神楽人（かぐびと）になる子どもが少なくなっています。今回の演目は、六目ある中から「正護」と言い、地の神を和ませ五穀豊穡を祈る神楽です。披露する神楽人は、学校の部活等が終わった後、夜遅くまで頑張り努力している4人です。</p>
<p>鹿児島県</p>	 <p>題名：阿久根市立脇本小学校「山田楽（やまだがく）」 団体名：阿久根市立脇本小学校5年生</p> <p>山田楽とは、今をさかのぼること400年ほど前、関ヶ原の戦いに出陣する際、互いの士気を高めると共に、勝利を祈願して奉納した鉦(かね)と太鼓による勇壮な踊りである。</p> <p>当時から出水(いずみ)地方で、夏祭り等で盛んに踊られて奉納され、代々伝承されてきたが、時代と共に継承者不足等により次第に衰退し、現在は2・3の地域に残っているだけである。</p> <p>この踊りには、地域を担う子供たちへの大きな期待と継承への強い願いが込められている。そこで、脇本小学校では、何とか伝承・保存したいという校区民の強い願いに応えるため、昭和59年に、「阿久根市立脇本小学校山田楽保存会」を発足させた。以来、毎年、小学5年生によって継承されるようになり、子供たちの意識には「5年生になったら、山田楽が踊れる。」という思いが育ち、5年生になることを楽しみにしている。</p> <p>また、脇本小学校では、学校教育の中に地域の伝統文化継承活動を位置付け、夏休みを利用して、師匠の教えや経験者である6年生が5年生に手ほどきをしながら、練習を積み重ねている。これは、先輩が後輩を指導し、後輩は先輩の教えに正しく学ぶという、薩摩の「郷中教育(ごじゅうきょういく)」の精神も併せて身に付けさせたいという願いから、5年生への伝承という形が取られており、今年度で33年目を迎えている。</p> <p>毎年、神社への奉納や運動会、祭り、高齢者施設訪問等で踊りを披露し好評を得ており、本年度、公益社団法人鹿児島県観光連盟より、「観光事業功労者等表彰(優良観光団体)」を受賞した。</p>
<p>長崎県</p>	 <p>題名：龍踊（じゃおどり） 団体名：長崎市立諏訪小学校</p> <p>「長崎くんち」は長崎市にある諏訪神社の秋の大祭で、毎年10月7日から9日にかけて執り行われる。現在43の町が7つのグループに分かれ、毎年5～7町が踊町として7年に一度趣向を凝らした演し物を奉納している。本校は踊町に囲まれた中にある学校であり、毎年多くの児童が「長崎くんち」に参加する。</p> <p>「くんち」の香り漂う本校では学校行事「諏訪っ子くんち」を毎年開催し、「龍踊」を始め6種類の奉納踊を披露している。踊町の方々から直接稽古をつけていただき、伝統的な所作を身につけているからこそ、地域・保護者の方々や近隣の幼稚園・保育園の園児などが運動場に溢れるほどの盛況を博することができる。</p> <p>龍踊は、紀元前の中国で雨乞いの儀式として行われていた。月を表した玉を求めて龍が乱舞し玉を飲み込むと、空は暗転して雨雲が湧き、雨を降らせると信じられていたのである。</p>
<p>福岡県</p>	<p>題名：ボディパーカッション 団体名：久留米市の子どもたち</p> <p>「楽器がなくても、音符が読めなくても、歌が上手に歌えなくても音楽が楽しめます！」ボディパーカッション教育は1982年に久留米市の小学校クラス活動から生まれました。手拍子を中心に膝やお腹を叩いて、リズムアンサンブルを作り上げます。ハンディキャップ(特別支援学校)の子どもたちも楽しく参加でき、平成17年度小学校、24年度特別支援学校の音楽教科書に掲載されたことから全国に広まりました。</p> <p>名称「ボディパーカッション」は、体全体を打楽器(パーカッション)のように演奏することから生まれた、久留米発祥オリジナルの言葉です。</p> <p>〈ボディパーカッション教育活動について〉</p> <p>今回、行います「みんなでボディパーカッション」は、2020年東京オリンピック開会式アトラクションで「10万人のボディパーカッション」&「ネットde10億人のボディパーカッション」実現に向かって推進します。</p>

佐賀県



題名:青幡神社例大祭への巫女の舞奉納
団体名:東山代神楽の会

佐賀県伊万里市にあります青幡神社は嵯峨天皇十三世にあたる源直は久安年間(1145~1151)に館を設け政庁の鎮守として青幡神社を創建したといわれています。以来870年の間この神社を鎮守として、無形文化財と共に守り続けています。その無形文化財の中に浮流文化が伝承され、農村文化と武士文化が艶やかな形に表現されています。

その浮流文化の中に子ども会総出での出演と共に巫女の舞があります。巫女によって舞れる神楽(神事において神に奉納するための舞)(八乙女舞)ともいいます。古代日本において巫女の上に神が舞い降りるという神がかりの儀式のために行われた舞がもととなって、祈祷や奉納の時に行われる舞です。

毎年10月9日の地区の祭りに奉納に向けて町内から小学4年生~6年生まで募集し祐徳稲荷神社で研修を受け練習を続けています。私たちの青幡神社は「浦安の舞」を奉納しています。

皆様たちもいろんな神社の儀式などで見られた方もありますが、この「浦安の舞」は全国の神社で奉祝祭を行うに当たり、奉納する神楽舞で宮内省楽部が全国の神社に伝わる歌舞伎舞として作曲作舞したといわれています。「浦安」とは心の安らかという意味だそうです。また昔日本の国名は「浦安の国」とも言われたそうです。はたして今はどうでしょうか?

平和を祈るためにも又、子ども会の健全育成にも巫女の舞は必要ではないでしょうか。今回は4人舞と2名の補助員でご覧いただきます。

熊本県



題名：八千代座子供カブキ教室の公演
団体名：山鹿市民歌舞伎の会

八千代座子供カブキ教室を運営する「山鹿市民歌舞伎の会」(代表 松葉友敏)は、国の重要文化財である芝居小屋・八千代座で、子供たちに、世界遺産となった日本の伝統芸能「歌舞伎」の魅力に触れてもらいたいとの思いで進めています。平成19年国の重要文化財芝居小屋で「八千代座子供カブキ教室」が始動。平成23年には、熊本県おもてなし隊の一員に選ばれました。また、平成26年度、文化庁「伝統文化親子教室事業」に認められ「八千代座伝統文化親子教室」として活動を続けています。元歌舞伎俳優の小桜佳之輔先生の指導の下、すでに述べ100余名の幼児、小学生たちが歌舞伎を体験し、八千代座で演じました。今後もこの様な場へ子供たちを誘えるように進めていきたいと思っています。凛々しくもいなせな名演は県内外で高評です。

・演目

口上-歌舞伎口上の様式にて、ご挨拶を申し上げます。

勸進帳一追われる身の義経を守るために山伏に化け旅する弁慶たち一行。関所で疑われるが、弁慶の機転と守り通すとの思いの強さで乗り越える。義経一行と関所の富樫、共にそれぞれのやるべきことを成し遂げようとする姿が、味方と敵の立場を越えて流れる共感を生み出します。

沖縄県



題名：創作エイサー
団体名：沖縄県子ども会

エイサーとは、本土の盆踊りにあたる沖縄の伝統芸能のひとつで、主に各地域の青年会がそれぞれの型を持ち、旧暦の7月15日(送り)の夜に先祖の霊を太鼓をたたいて、あの世へと送り出す伝統行事です。

エイサーはひとつの決まった型があるわけではなく、各地域によって様々な特徴のある踊りが代々伝承されてきています。そのため地域の連帯感を増し、地域活動のコミュニティー意識を強める一端を担っております。

沖縄県は、各地区子ども会に於いて郷土芸能を広く取り入れて活動を行っており、その中で最も多くの子ども会が活動内容に取り入れているのが「創作エイサー」「琉球舞踊」「空手」「沖縄獅子舞」などです。今回、皆様に披露する演舞は、地域子ども会の中から「創作エイサー」等を皆様に見て頂きます。

福岡県

題名：御井町風流(久留米市指定無形民俗文化財)
団体名：御井町風流保存会

御井町風流は、高良大社に古くから奉納されてきた「田楽かけ」「田楽能」の伝統をひき、田植えにおいて天空から田の神を勧請し、太鼓を叩いて囃し、豊年を祈願する神事である。

この田楽が中世以降次第に風流化していった。風流とは、華やか、派手、きらびやかという意味で、祭りの道具を飾り立て、衣装を華美にしてお祭りを行われてたものである。昭和52年に御井町住民によって「御井町風流保存会」が結成され、太鼓方、鉦方、笛方、そして口上を述べる男児等を、子どもを中心に奉納等の活動を行っている。

■閉会式 16：30～17：00

●閉会式

1. 主催者のあいさつ
2. 感謝状贈呈
公益社団法人全国子ども会連合会より九州地区子ども会育成連絡協議会へ感謝状を贈呈します。
3. 大会旗引継ぎ
4. 次期開催地区挨拶
5. 万歳三唱
6. 閉会の言葉

□2月19日(日) 第3日目

■視察ツアー 9:00~16:00頃

●視察は全て事前申込み制としております。
お申込みのない方は、視察への参加をお受け
できませんのでご注意ください。

【Aコース】柳川の『川下りにさげもんめぐり』と八女の『筑紫の君磐井の乱』 参加費@2,592円(昼食代) ※内容: 御花 並うなぎせいろ蒸し

久留米	柳川川下り	柳川さげもんめぐり	散策	柳川(昼食)
9:00	10:00~11:00	11:00~12:00		12:15~13:00
		八女市岩戸山歴史文化交流館	福岡空港	博多駅
		13:40~14:30	15:30	16:00頃

【Bコース】『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群めぐり 参加費@1,650円(昼食代) ※内容: 鯛茶漬け御膳

久留米	宗像大社・・・海の道宗像館	新原・奴山古墳群展望所
9:00	10:20~12:00	12:10~13:00
	玄海(昼食)	博多駅
	13:15~14:00	15:45
		福岡空港
		16:15頃

<逆コース>

久留米	新原・奴山古墳群展望所	宗像大社・・・海の道宗像館
9:00	10:20~12:00	12:10~13:00
	玄海(昼食)	博多駅
	13:15~14:00	15:45
		福岡空港
		16:15頃

【Cコース】紅乙女酒蔵見学と大刀洗平和記念館 参加費@2,700円(昼食代) ※内容: 和懐石

久留米	紅乙女酒蔵見学	大刀洗平和記念館	秋月城散策	ご昼食
9:10	9:30~10:30	11:15~12:00		12:20~14:30
			博多駅	福岡空港
			15:15	15:45頃

<逆コース>

久留米	大刀洗平和記念館	紅乙女酒蔵見学	秋月城散策	ご昼食
9:10	9:30~10:30	11:15~12:00		12:20~14:30
			博多駅	福岡空港
			15:15	15:45頃

【Dコース】太宰府天満宮と九州国立博物館 参加費@1,620円(昼食代) ※内容: 松花堂

久留米	太宰府天満宮・・・九州国立博物館	博多芙蓉(昼食)
9:00	10:00~12:00	12:30~13:30
		博多駅
		13:45
		福岡空港
		14:15頃

<逆コース>

久留米	九州国立博物館・・・太宰府天満宮	博多芙蓉(昼食)
9:00	10:00~12:00	12:30~13:30
		博多駅
		13:45
		福岡空港
		14:15

会場までのご案内



東京方面から

羽田空港 ▶約1時間55分▶ 福岡空港 ▶約50分▶ 「六ツ門・シティプラザ前」バス停

- 飛行機で羽田空港から福岡空港まで約1時間55分
- 高速バスで福岡空港から「六ツ門・シティプラザ前」バス停まで約50分（乗り換えなし）

大阪方面から

新大阪駅 ▶約2時間45分▶ JR久留米駅

- 新幹線で新大阪駅から久留米駅まで約2時間45分（乗り換えなし）

福岡市から

- 新幹線でJR博多駅からJR久留米駅まで約17分
- 西鉄電車で西鉄福岡（天神）駅から西鉄久留米駅まで約30分
- 西鉄久留米駅からタクシー約4分、路線バス約5分、徒歩約10分
- JR鹿児島本線でJR博多駅からJR久留米駅まで約35分
- JR久留米駅からタクシー約7分、路線バス約10分、徒歩約20分
- 自動車で久留米I.Cから約15分

久留米シティプラザへの路線バスについて

✿JR久留米駅より✿

JR久留米バスセンター
主に1番線、2番線より乗車
六ツ門・シティプラザ前下車
▶170円 10分程度



✿西鉄久留米駅より✿

西鉄久留米バスセンター
主に4番線、5番線、6番線より乗車
六ツ門・シティプラザ前下車
▶170円 5分程度



全国子ども会連合会

第50回全国子ども会育成中央会議・研究大会

< お申込み手続きについて >

～事前アンケート・レポートを必ずご提出ください～

①子ども会関係者、指導者・育成者、子ども会担当の行政職員の方

所定の参加申込み用紙により、必要事項を漏れなく記入し、

お住まいの都道府県・指定都市の子ども会連合組織の事務局へお申込みください。

◎お申込み者 → 都道府県・指定都市の子ども会連合組織 → 株式会社JTB九州

②子ども会に所属のない方

都道府県・指定都市子ども会連合組織からお申込みのできない場合は、

全国子ども会連合会へお問い合わせください。

◎お申込み者 → 全国子ども会連合会 → 株式会社JTB九州

■参加申込み〆切

平成28年12月16日(金) 【必着厳守】

*上記〆切日は、株式会社JTB九州への お申込み〆切日です。

*お住まいの都道府県・指定都市の子ども会連合組織ごとに独自にお申込み〆切日を設けておりますので、ご注意ください。

■参加対象者

○都道府県・指定都市の子ども会組織の関係者

○市区町村及び地域の子ども会を育成する子ども会の指導者・育成者

○都道府県・指定都市、市区町村の子ども会担当の行政職員

○学校教育、少年教育施設関係者

○生涯学習コース、教育学部等の大学生

○子ども会活動及び本事業の内容に興味関心のある方

■参加申込み先

※ 都道府県・指定都市子ども会連合組織は、下記あて郵送またはFAXにてお申込みください。郵送の場合は、控えを必ずお取りください。

※ 個人でのお申込みは、直接お受けできません。全国子ども会連合会へお問い合わせください。

====株式会社JTB九州【子ども会育成中央会議係】=====

【お申込み・お問合せ先】 (受付業務代行) JTBコンベンションサポートセンター

TEL: 092-751-2102 FAX: 092-751-4098

〒810-0072福岡市中央区長浜1-1-35 新KBCビル6F

(営業時間) 月～金曜日 9:30～17:30 土・日曜・祝日は休業

=====

■参加諸経費

参加費 参加者1名につき 3,000円

受賞者を囲む会・情報交換会 参加費 10,000円(税金・サービス料含む)

昼食(2月18日昼食・お弁当1,080円)

19日は視察先により金額が変わります。⇒各コースの行程表をご参照ください。

■事前アンケート・レポートの提出

○事前アンケート・レポートは、必ず参加者本人がお書きください。

○事前アンケート・レポートは、都道府県・指定都市子ども会連合組織でお取りまとめの上、全国子ども会連合会へ平成29年1月17日(火)までにお送りください。

☆ 第50回全国子ども会育成中央会議・研究大会に関するお問合せは・・・



公益社団法人
全国子ども会連合会

〒112-0012 東京都文京区大塚6-1-14 全国子ども会ビル

TEL: 03-5319-1741 (代) FAX: 03-5319-1744

http://www.kodomo-kai.or.jp/ E-mail zenkoren@kodomo-kai.or.jp

「シニア、ジュニア・リーダーが進める

子どもの手による子ども会！」

「保護者の理解と参加で子ども会活動の活性化！」

「子どもたちに残し伝えたい自然と郷土伝統芸能！」



◆全子連標語最優秀作品◆



「会員の輪を広げよう」
ひろげよう ちいきでそだてる 子ども会



「交通安全推進」
手を挙げて 車にサイン 事故防止



「防災」
避難場所 家族で言える合言葉



「スポーツ事故防止」
無理せずに休む勇気もスポーツマン